

# 草津温泉 大滝乃湯

Kusatsu Onsen Ootakinoyu  
(群馬県草津町)



久しぶりに草津温泉取材することになった。草津温泉へ行くときは必ずスキーとセットであるが、今回はスキーはしない。純水に温泉だけを楽しむためにやってきた。

草津に近づくとつれ、辺り一面が雪景色になってくる。草津から降りてくる車の屋根には 10cm 程度の雪が積もっているから、草津ではかなり雪が降っているものと推察される。

今回紹介するのは日帰り入浴施設である大滝乃湯。この温泉では、毎月第 2 土曜日、第 4 土曜日は湯が白濁する。施設の配管内を清掃することで、配管内にたまった湯の花が大量に出てくるからだという。実は、取材日はこの白濁した湯が楽しめる日であった。ラッキーそのものである。草津温泉では、一般に湯は無色透明である。

早速内部を紹介していく。貴重品は脱衣室の前の貴重品ロッカーに収納可能だ。100 円硬貨が戻ってくるタイプである。脱衣室には脱いだものを入れるかごが 78 個もある。ロッカーも 48 個あるが、100 円硬貨は戻ってこない。洗面台は 7 個、ドライヤーは 4 個ある。アメニティーとしては、「美白潤」、「とろみ育毛剤」、「塗るグルコサミン」、綿棒、ティッシュがある。休憩用の座敷もある。

浴室に入る。内湯の壁と天井は木造であり、床と浴槽は石貼だ。洗い場は 18 か所あり、リンスインシャンプーとボディーソープ、軽石が完備している。他にシャワーブースが 2 か所あるが、なぜか石鹸の使

用は禁止されている。サウナから上がった人専用という位置づけのようである。サウナはコロナ対策のために定員が 10 人に制限されているが、3 段式の本格的なサウナだ。室内温度は 95℃だった。テレビはない。水風呂もある。

内湯の浴槽は適温であり、50 人は入れるであろうという巨大なものだ。端に打たせ湯もあるが、あまり勢いはない。

露天風呂は圧巻である。3 段式になっていて、上段から下段に向けて湯が流れている。上段は適温であり定員は 20 人、中段はややぬるく定員は 15 人くらいだ。下段は歩行浴になっており、距離は 15m 程度だ。取材日は寒いので歩いている人はほとんどいなかった。

大滝の湯の核心部分は地下の「合わせ湯」である。ここの仕上げは天井、床、壁、浴槽すべて木造。5 つの浴槽があり、すべて温度が異なる。徐々に熱い湯に入れるようになっている。最も湯温が低い右手にある浴槽は定員が 6 人くらいと最も大きい。左手にある浴槽は、定員 1 人が 2 個、3 人が 2 個とかなり小さい。4 つの内、最も温度が低い浴槽は入浴可能であったが、その他の 3 つの浴槽は熱すぎて無理だった。しかし、常連客らは何食わぬ顔で入っている。草津では、熱い湯好きが多いようだ。完敗である。

ちなみに大滝乃湯は酸性硫黄泉 (pH2.1) であり、神経痛、関節痛、うちみ、ねんざ、やけど、慢性消化器病、病後回復期、美肌、慢性婦人病などに効くという。

その後温泉街を歩いたが、やけに若者が多い。年寄りほとんど見かけなかった。最近の若者は温泉を楽しむのか。妙にうれしくなった。

尚、大滝乃湯には食事処、マッサージルーム、売店もある。売店には草津温泉の湯の花も売っているので、自宅で草津温泉を楽しむことも可能だ。食事処の蕎麦は安価なのでお勧めだ。味は良い。

## DATA

名称	草津温泉 大滝乃湯
所在地	群馬県吾妻郡草津町大字草津 596-13
電話	0279-88-2600
営業時間	9:00~21:00 (最終受付 20:00)
定休日	無休
入浴料	大人 900 円、小人 400 円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2021 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	草津温泉